

# 年末資金の 貸し付けを

水俣病訴訟派が市に陳情

水俣病患者家庭の訴訟派（渡辺栄蔵代表、三十三世帯）が二十二日、水俣市に年末資金二世帯当たり十万円内の貸し付けを陳情した。四十四年から県、市に陳情、請願を重ねているが、実現していない。水俣市議会では不採択になったいきさつもある。

同日は浮池市長が「まだ検討していない」と述べたので、再度二十九日市を訪問することになった。